

つながろう「人」と「人」

とっておきの言葉

(80分)

【対象者】

保護者や成人一般
20人～40人程度

【関連する視点・課題】

コミュニケーション能力

ねらい

人は、落ち込み、苦しんだとき、誰かの一言で立ち直ることがあります。また、自暴自棄になり、他人のことを考えずに好き勝手に行動しているとき、誰かの一言で自分の愚かさにはっと気づくことがあります。ある状況におかれた人がどんな「言葉かけ」でより良い方向に変わっていくのかを考え、話し合うことで相手の立場に立ったコミュニケーション能力の育成を図ります。

準備

○付箋紙 ○サインペン ○マジックインキ
○模造紙 ○テープレコーダー又はCDプレーヤー

アクティビティの実際

導入
(10分)

アイスブレイキング

※「電流リレー」を実施する。
(13ページ参照)

展開
(50分)

「とっておきの言葉」

1 BGMを流し、落ち着いた雰囲気の中で、詩を朗読します。

説明1

人はたった一言で傷つけられたり、たった一言で励まされたりするものです。これから私の好きな詩を読みますので、聞いてください。(「ひとつの言葉」の詩を朗読する)

説明2

これから「事前」の場面と「事後」の場면을提示します。ある人のある言葉によって、登場人物の心が「事前」の場面から「事後」の場面へと変わりました。どんな言葉をかけたのか考えてみましょう。

事前場面1

中学校2年生のクミは、授業をなまけ、掃除もせず、注意されると反抗した。

事後場面1

クミが卒業するとき、「ここまで頑張れたのは、先生のお

かげだよ。掃除をさぼって注意されたとき、私が『何でかまうんだよ。』って反抗したよね。その時、先生がなんて言ったか覚えてる？…あれ、忘れられないよ…。』

2 各個人で、「事前場面1」の後、この教師がどんな「言葉かけ」をしたかを考えます。

説明2

事前場面1で先生に反抗していたクミが、事後場面1では先生に感謝するようになりました。どんな言葉がクミの心を変えられると思いますか。ちょっと考えてみてください。

〈1～2分時間をおいてから〉どんな言葉かけがクミの心を変えられるか、考えた言葉を発表してください。

〈何人かの発表が終わったら〉

実は、この話は実際にあった話です。事後場面1の続きを読みますので、聞いてください。

※上記の「事後場面1」に続いて、次の「事後場面1のつづき」を読む。

事後場面1のつづき

「先生が『クミに幸せになってほしいからだよ。』って言ったんだ。それ言われた時は、嬉しくて、家に帰って一人で泣いたんだ。大事に思われているんだなって。だから私、真面目に頑張れたんだよ。」

4 次の場面について、父親がアイコにどんな「言葉かけ」をしたかを考え、付箋紙に書きます。

事前場面2

中学生のアイコが万引きをした。普通なら保護者が警察に引き取りに行くのだが、アイコには父親しかいない。しかも、その父親は居酒屋をやっていて、準備の時間で引き取りに行けないというので、担任が、アイコを引き取りに行き、家まで送り届けた。非常に厳しい父親なので、担任は、アイコは絶対に父親に殴られるだろうと思いながら居酒屋の扉をあけた。

事後場面2

父親の言葉を聞いた担任は、アイコはもう二度と万引きをすることはないだろうと思った。

説明3

事前場面2で万引きをして警察から担任に引き取られたアイコが、事後場面2では、もう二度と万引きをすることがないだろうと担任が確信するようになりました。父親がどのような「言葉かけ」をしたら、アイコが変わると思いますか。自分の考えを付箋紙に書けるだけ書いてください。

- 5 5～6人のグループをつくり、場面2について、思いついた言葉を書いた付箋紙を模造紙に貼らせます。一人ずつカードを読み上げながら貼らせるようにします。
- 6 貼られた付箋紙をグルーピングし、タイトルを記入するようにします。
- 7 どの言葉が最もアイコの心を変えることができるかを話し合えます。

説明4

各グループでそれぞれが思いついた言葉を書いた付箋紙を模造紙に貼り付けてください。その際、一人ずつカードを読み上げながら貼ってください。次に貼られた付箋紙をグループに分け、タイトルをマジックインキで記入してください。その後、どの言葉が最もアイコを「事後場面1」のクミのように変えることができるかを話し合ってください。

- 8 各グループがどのような話し合いをしたかをロールプレイで発表するようにします。

説明5

それぞれのグループで、アイコの心を変える言葉としてどんな意見が出たのかを、ロールプレイで発表してもらいたいと思いますので、役割を決めてください。

- 9 各グループが考えた言葉をロールプレイで発表します。

ふ り 返 り
(20分)

ふり返り

- 1 人を変える「言葉かけ」とはどんなものかを話し合います。
- 2 人の心を動かすには、「言葉かけ」以外にどんなものがあるか話し合います。

ポイント



- 正しい「言葉かけ」を求めるのではなく、より良い「言葉かけ」を話し合うようにします。
- 他の人のいろいろな考え方を受け入れる雰囲気をつくるのが大切です。
- 場面1・2とも実際あった話を参考に作成したので、最後に「言葉かけの実際」を紹介するのも有効です。

【応用・発展のために】

- コミュニケーション能力（特に、アサーティブネス）を扱ったアクティビティと組み合わせて実施すると効果的です。

言葉かけの実際

事後場面2のつづき

絶対にアイコは殴られるだろうなと思いながら居酒屋の扉を開けた途端、お父さんがアイコを抱きしめて「おまえに寂しい思いをさせているのはお父ちゃんや。」と言ったんです。

「ひとつの言葉」

ひとつの言葉で喧嘩して
ひとつの言葉で仲直り
ひとつの言葉で頭が下がり
ひとつの言葉で笑い合う
ひとつの言葉はそれぞれに
ひとつの心を持っている
きれいな言葉はきれいな心
やさしい言葉はやさしい心
ひとつの言葉を大切に
ひとつの言葉を美しく



アサーティブネスができると

～アサーティブネスはあなたの品性を高め、生涯の財産となります～

アサーティブネスとは、相手と意見や気持ちの食い違いが生じたとき、相手を攻撃せず、また、自分の気持ちを押し殺すのではなく、相手の気持ちを尊重しながら自分の意見を率直に表現することです。

アサーティブネスができると、自分がどうしてもらいたいのか、正確に相手に伝えることができ、人間関係が深まります。